

【松村謙三研修会2022】

2022年8月21日（日）に富山県南砺市の福光福祉会館にて松村謙三研修会2022が開催され、当會理事長、理事らが参加した。

田中幹夫南砺市長（松村謙三顕彰会会長）、橘慶一郎衆議院議員（同 顧問）が開会に先立ち挨拶。続いて櫻田會理事長増田勝彦も挨拶をした。

続いて松村の孫娘の夫である濱本良一氏（元読売新聞社中国総局長）による「激動の世界の中の中国と日本」という講演が行われ、約110名の参加者が中国の現在、国民性、日中関係など知識を深めた。



田中市長の挨拶



濱本良一氏

【松村謙三ゆかりの地めぐり】

2022年10月19日（水）・20日（木）の「松村謙三ゆかりの地めぐり」ツアーで、33名の参加者の皆様が櫻田會を訪問された。松村謙三顕彰会の企画により企画されていたがコロナ禍で延期を余儀なくされており、3年越しでようやく実現した。

当會理事長が櫻田會の概要や設立の経緯などを説明した後、大東文化大学の武田知己教授がプレゼンテーションを行った。

櫻田會を後にして一行は松村の眠る護国寺へ墓参、夜は都市センターホテルで懇親会が和やかに行われた。



當會シンボルのライオン像と田中市長



懇親会での集合写真

都内でゆかりの地訪問

松村謙三顕彰会 功績・人柄しのぶ



櫻田會を訪れ、松村の写真や書簡について説明を受ける顕彰会の会員たち

日中友好や農地改革に尽力した南砺市福光地域出身の政治家、松村謙三の顕彰会（会長・田中幹夫南砺市長の会員ら約30人）は19日、都内にある松村ゆかりの地を巡り、多大な功績とその人柄をしのいだ。

コロナ禍のため、これまで続けてきた訪中団事業に代え、国内研修として初めて企画した。1泊2日の日程で、松村が理事長を務めた一般財団法人櫻田會（港区）のほか、墓のある護国寺（文京区）などを訪ねる。

最初の訪問先となった櫻田會は、立憲民衆の政策研究機関として設けられた施設の管理運営組織がルーツ。松村の孫の夫でもある同会の増田勝彦理事長がこれまでの歩みや、政治研究への助成など現在の事業内容を説明した。

松村の研究を続ける大東文化大の武田知己教授による講話もあり、会長の田中市長は「初めて目にする写真や書簡が多く、松村先生への理解がより深まった」と話した。

夜には都内のホテルで懇談会があり、ゆかりの人々との交流を楽しんだ。

20日は、松村の母校である早稲田大の歴史館などを見学する。